

AJU福祉情報誌 自立の家

暮らしに役立つ、ちょっと
わくわくすることがある
そんな情報を贈ります



1995年12月25日増刊号
第18号

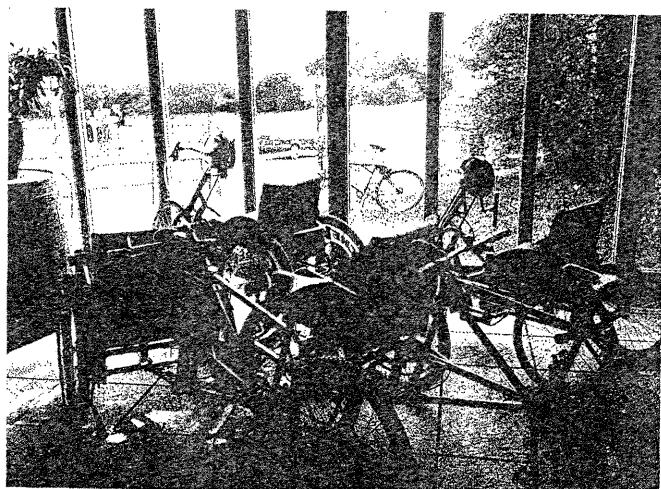
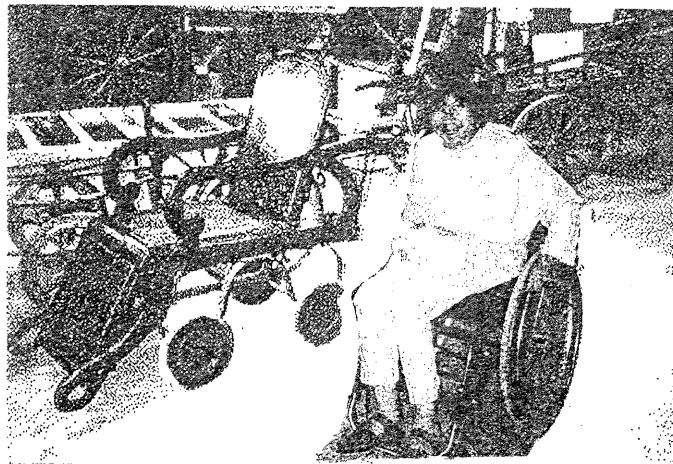
編集/社会福祉法人AJU自立の家 福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
連絡先/〒466 名古屋市昭和区恵方町2-15 AJU自立の家内
Tel (052)841-5554 Fax (052)841-4810

Merry Christmas & A Happy New Year メリークリスマス そして あけましてあめでとう

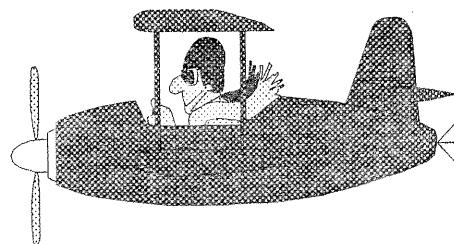
福祉機器特集増刊号を贈ります。

↓左は昔の、右は今の車いす

- 1p 軽量車いすパンテーラ入手物語
スウェーデン製の車いすが
欲しい!
- 3p 工房紹介
「風工房」
- 6p 福祉機器いろいろ情報
「コンピュータ画面読み上げ
ソフト」「さつきも使える
マウス」などなど



↑自転車と車いすの一体型(1人は自転車、1人は車いすをこぐ)



軽量車いすパンテーラ入手物語・後編

スウェーデン製の
車いすが欲し~い！



10月号でお話ししたとおり、「ゆりこの何でも相談室」の回答者＝私のスウェーデン製の軽量車いす「パンテーラ」が欲しいという願いは、始めから暗礁に乗り上げてしまったのでした。「取り扱い業者が指定業者ではない」、「パンテーラの値段が補装具の支給金額を超えてる」、「医師の診断がないと支給できない」というこの「難問？」を、いかにして解決したかを、今月号では紹介したいと思います。では、始まり始まり……。

スウェーデン製車いす「パンテーラ」を手に入れるまで・後編

地域相談を利用する

さて、10月号で、名古屋市総合リハビリテーションセンター内（以下リハセンと略）身体障害者更生相談所に電話をした私は、「どうしてもその車いすでないといけないという医師の指示がないと出せない」と言われました。が、気を取り直し、とにかく「判定」にのぞんで、お医者さんに切々と訴えてみようと、もう一度更生相談所に電話したのでした。

「あの、補装具交付の判定を受けたいのですが？」

「予約制なので1か月先になります」

「あの～お、もう少し早くできませんか～あ」

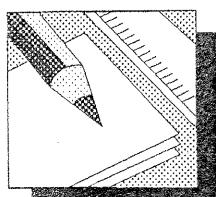
「予約が混んでいるのでねえ」

「それじゃ、次の地域相談はいつですか？ それに行つてもいいですか？」

「えっ？ 来週ですけれど・・・。まあ、う～ん、いいですかねえ・・・」

ということで、私はできるだけ早く判定を受けるべく、リハセンでの予約制判定ではなく、「地域相談」というのに行くことにしたのである。

地域相談に緊張



地域相談の行われる当日、私は仕事を午後から抜けて、M区役所に行ったのだった。「絶対に医者を説得するぞ」と思うとだんだん緊張してくる。無理に笑顔を作つてみたりする。

始めに申込書を書くのだが、これがいろいろ書くことが多い。

「なんか、向こうに悪気はないのだろうけれど、いろいろ書かなきやいけないのってイヤだなあ」と思いながら書く。『ひとり住まい・介助者なし』なんてほつといてくれ！なんて思つたりして。そう、私は今で言えば花のシングル、昔で言つたら「オールドミス」。職場の同僚に結婚祝いや出産祝いをあげることはあっても、こっちがもらうことはない。なんて、話がわき道にそれたが。もし、自分がこれから申込書やアンケート用紙を作るときがあつたら、なるべく不要なプライバシーは聞かないことにしようと心に誓う。

地域相談とは

地域相談とは、わざわざリハセンに行かなくても、近くの区役所で判定を受けられる便利な制度で、名東区・北区・港区・中川区で年3回ずつ行われるそうです。

「とにかく、医師を説得するまで帰らないぞ！」と思ったら？

書類を書いた後は、いよいよ医師による診断ということになる。理学療法士(以下PTと略)も同席している。席につく前「うへん、このお医者さんって、どこかで会ったことがあるなあ」と、よく考えたら、以前に仕事上の会議でよくお目にかかっていた人だった。それにしても、私服の時と白衣の時では人が違つて見えるし、こちらの態度も妙に謙虚になってしまふ。「いけない！強く主張するんだ」と思い直し、診察机の前行く。まず、



「パンテーラが欲しいんです！軽いし車に載せやすいんです！」と、準備しておいたカタログ一式を見せる。

「そうですか～。ふへん。」とカタログを見る医師。

「。。。。」ちょっと不安になる私。

「でも雨の日とか乗り降りに時間がかかるでしょう？」と聞かれる。

「そうなんですよね。折り畳めないんで。」（なんて、以前組み立て式のアメリカ製車いすに乗っていたことのある私は、ついついホントのことを言ってしまう。いかん！）

「でも、組立式だと強度があって、階段とかを運んでもらいやすいんです。」と、私はばん回を図る。すると

「まっ、いいでしょ。いいですよね。××さん」と、医師はPTを呼び、パンテーラはしごくあっさりと許可されたのだった。

『やったー。いいのかな～。まあ誰かがダメだと言い出したら困るから早く帰ろう』と、私は急ににこにこ顔になって帰ってきたのだった。判定が降りると愛想を振りまくとは、我ながら現金なものである。白衣と役所に弱いと言えないこともないなあ。

風工房は指定業者ではないか？

もう一つ残っていた問題は、パンテーラを扱っている風工房が、名古屋市の指定業者ではないということだった。しかし、この問題も風工房で色々考えててくれて、結局、風工房から、名古屋市の指定業者であるNICKにパンテーラを卸す、という形で解決してくれていた。つまり、私はNICKからパンテーラを納入してもらう訳だ。そして、私はもう一度書類を書き、自己負担金を支払い、パンテーラを手に入れたのだった。

なお、現在はパンテーラを扱っていた工房連絡会が「姿勢保持協会」と発展しNICKもそこに加入しました。NICKはパンテーラについての（販売する側の）講習も受けたそうで、12月からは直接販売ができるそうです。

NICK連絡先 Tel(052)822-2232

これがパンテーラと私・めでたしめでたし



パンテーラのいい所・日本製車いすのいい所

さて、めでたく手に入れたパンテーラですが、日本製の車いすと比べてどの辺がいいと私が感じているか、下の表で紹介してみたいと思います。

もちろん、日本の車いすにも便利な点はたくさんあるし、必ずしもパンテーラがすべての人には合っているというわけでもありません。けれども、あなたがずっと使っている車いすは本当に自分に合っていますか？もし読者の皆さんのが色々な車いすに試乗できる機会があれば、ぜひ色々試して欲しいと思います。聞くのと乗ることでは大違いです。そして、あなたも自分にあったものを探して、手に入れて下さいね。

パンテーラ

- ・軽い
- ・座ったときの姿勢がいい
- ・微調整できる
- ・こわれたときに部品交換で修理できる
- ・長く乗ってこいでも疲れが少ない
(1日中車いすで外を歩くと違いがわかる)
- ・片手で操作するブレーキが使いやすい
- ・カゴヨリで押し手を高くしたので押しやすい

日本製の折り畳み車いす(オーダーメイド)

- ・折り畳みができるので、車の載せ降ろしが楽
- ・オーダーなのに座ったときの姿勢が悪い?
(特に古くなると座った姿勢がくずれる)
- ・微調整ができない
- ・どうも長くこぐと疲れが多いなあ
ペアリングとかバランスの問題でしょうか？
- ・最近はカラーが選べる



パンテーラを紹介してくれたのはこの工房！ 障害を持つ人の道具づくりをしている「風工房」紹介

風工房の仕事

風工房は豊橋市にある工房です。主なお仕事は「ポジショニング」です。このポジショニングとはですね、たとえば、車いすやイスに座るのに、障害を持ったその人に合わせたクッションなどを作ることです。

お客様は子どもが多くて、だいたい1回目は採寸、2回目で仮合わせして、3回目で納品します。場合によってはもう1回合わせるとありますけれども。

費用はと言うと、だいたい補装具の交付の範囲で作るそうです。基本的に医師の意見書が必要です。実際に作っていく場では、子どもの学校の先生などと相談をします。



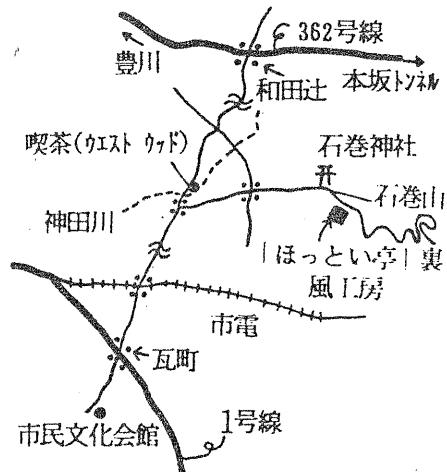
全国工房連絡会会員
代表取締役
高村 浩司

障害を持つ人のための道具づくり

〒441-11 豊橋市石巻町字南山38-3
Telephone 0532-88-2419

風工房の製品

- ◇姿勢保持具
 - ・座位・立位・臥位
- ◇移動具
 - ・車椅子・歩行器
- ◇各種訓練器具
- ◇日常生活用具
 - ・便器・カーシート



風工房では、なぜパンテーラの販売をしているのか？

パンテーラは、もともと無限工房の光野さんという方が工房連絡会の所属工房を通して輸入・販売していました。ただ売るのではなく、よい車いすを広めていきたいという願いからです。「工房連絡会」とは、風工房や無限工房など、障害のある人のための道具作りをしている工房の集まりなのです。（前述したとおり、今は工房連絡会は「姿勢保持協会」となり、その協会に加盟して、講習を受けた業者なら販売できるようになっています。）

風工房の悩み

補装具の交付基準については、行政の理解によってだいぶ地域差があるそうです。パンテーラの支給についても、右の新聞記事のように愛媛県などでトラブルがあったようです。制度の矛盾としては、シートを作っていく途中の仮合わせの費用が支給されないなどあります。

風工房の社長兼技術者の高村さんは、最近ちょっと消耗しています。今まで、ガンバつていいものを交付しようとしてきましたが、本当にユーザー当事者、その家族がそれを求めているか疑問に感じてきたそうです。

「当事者達がもっと自分にいいものを得るために動いて欲しい。」、「例えば補装具で交付を認められない車いすを、自費で

買ったり、色々な方法で手に入れるのもいいが、それが本当に必要でよいものなら、もっと行政にアピールして、交付されるように活動をして欲しい。」と高村さんは願っています。

新聞記事より

国の車いす無償提供制度 柔軟な運用できないか？

愛媛県頸椎損傷者連絡会 近く県に質問状
軽い外国製車いす購入希望者交付取り消される
県の窓口「現物支給が原則」と

車いすなどの補装具を必要とする障害者に、国が無償で提供する制度の運用をめぐって愛媛頸椎損傷者連絡会が近く県に質問状を出す。新居浜市内の女性が、国から交付されるお金に自費を加え、より高額な車いすを購入しようとしたところ、県更生相談所から「待った」がかかったのがきっかけだ。「現物支給が原則の制度」とする県や国に対し、同連絡会などは「提供される車いすは使いにくく、どの障害者も自費で改良している実態がある。実際に使う障害者自身が車いすを選べるよう、こうした利用の仕方も柔軟に認めて欲しい」と求めている。
(朝日新聞愛媛版 '95/9/18)

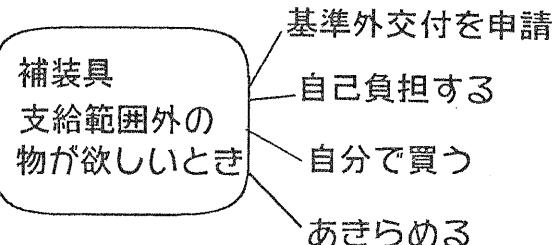
色々な制度を学んで活用しましょ！

「たとえば基準外交付という制度があります。これを使えば基準額をこえているものでも支給される可能性があります。これをもっと使えばいいんです。基準外交付は書類を作つて厚生省に送るのですが、この申請がたくさん来れば、厚生省もいったいどんな福祉機器が必要なのかわかつてくるはず。申請に1年かかるという人もいますが、大阪では2ヶ月でおりているとも聞きます。」と高村さんは語っています。

（この基準外交付についての資料が欲しい方は、編集部にありますのでお問い合わせ下さい。

Tel (052)841-7811

あなたはどうしますか？



私たちも、もっと賢くなろう！ 風工房見学＆とろろ料理ツアー

というわけで、私たちも自分や家族の、本当に使いやすい車いすをもらうためには、もっと賢くならないとね。さて、そこで、今回は車いすやいすのシートを作っている「風工房」と、そのお隣の「隣のトロロ」こと、とろろ料理の店「自然処・ほつとい亭」を訪ねるツアーを企画しました。日程内容は右の通り。工房に興味のある方、とろろ料理の食べたい方、ぜひご参加下さいね

風工房見学＆とろろ料理ツアー

2月18日（日）予定

朝10時 車いすセンター集合（昭和区恵方町）

費用 2,000円（送迎なし）

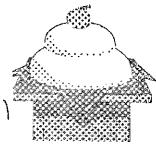
3,000円（送迎付き）

内容 風工房の中を見学させていただきて、それから「ほつとい亭」で、高村さんのお話をうかがいたいと思います。

申込み 電話番号・名前・送迎の有無・車いすの有無を記入、FAXか郵送でお申し込み下さい。

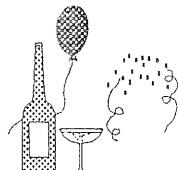
Fax(052)841-1015 問い合わせ Tel (052)841-9888

〒466 名古屋市昭和区下構町1-3-3 情報誌係尾崎まで



パンテーラ後日談 ストックホルム 出会いの物語

さて、このパンテーラ入手物語には、ほほえましくも切ない後日談があります。



夏のストックホルムでナンパされる！？

やっとパンテーラが“支給”されて、今年の夏休み、私は超格安航空券（目的地から日本まで4回乗り換え、丸2日かかるってやつだ。でも安かった）を買って、チープな宿に泊まりながら、パンテーラのふる里スウェーデンを訪ねた。1人旅だった。さびしかった。バケーションシーズンなので、まわりの人たちは皆ファミリーかカップルだった。

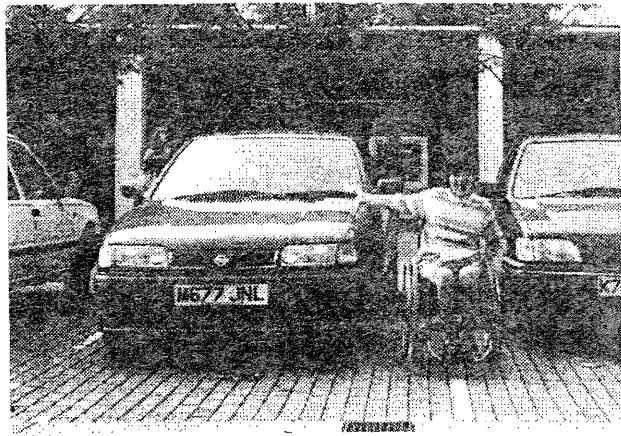
ある屋下がり、広場でたった一人、私はコーヒーを飲んでいた。『誰かナンパしてくれないかな』なんて、心の中で期待しながら。でも、もう1時間誰も声はかけては来なかった。『しかたないわ』と帰りかけたその瞬間、こちらに近づいてきて、「ハイ！」と、にこやかに声をかける男性がいる。『やった！』と内心喜ぶ私。「はじめまして、僕の名前は…」なんてあいさつされながら『うん、なまりからいうとイタリア人かフランス人かな。クラッチ杖についてるけれど、でも、連れはいないみたいだし、これはいいぞ！』と私は考えた。

私が近づいてきた彼の本当の目的は？

「ところで」と彼は聞くのだった。「君の乗ってる車いすって、すごっくいいね」。「そう？」と私。「僕も欲しいから、どこで手に入れたか知りたいな」と聞くので、「ああ、これは日本で買ったんだけど、スウェーデン製なのよ」と答える。「どこで買えるか教えてくれないかな？」と彼。「スウェーデンでは車いすは貸与だそうだから、買えるかどうかはわからないけれど、ここに行くと見せてもらえるわ」と、私はストックホルムの福祉機器センターのアドレスを親切に教えてあげた。

「ありがとう！」と彼はさわやかに言って、センターのアドレスを持ち、さっとテーブルを立って行ってしまった。後に残された私。『やっぱりだめか』と、その日も長くさびしい白夜を過ごしたのだった。（まさか、パンテーラの本場スウェーデンで、自分が宣伝をすることになるとは。トホホ。）

車いすとそれを載せる同型の4ドア車



パソコン用福祉機器電子辞書「KIKI」誕生

「名前はわからないけどこんな道具が欲しい。」「車いすはどんな種類があるの?」等の疑問に応えてくれる電子辞書がもうすぐできます。ここに組み込まれているデータは第22回国際福祉機器展に展示された福祉機器で、機器の情報やその写真、販売会社名等が簡単にわかります。この辞書は、パソコンで操作するのですが、パソコンの操作がわからない人にも使いやすく考えられています。

※詳しくは、同封のチラシをお読み下さい。

- ・国内外のデーター収集200社 1,000点(予定)
- ・予定価格3,000円(送料別途)
- ・完成予定:平成7年12月下旬
- ・データベースを起動し機器のデータを検索するシステム



問い合わせ:社会福祉法人AJU自立の家 データベース作成委員会 小山・堀田
052-841-7811 (FAX 052-841-3788)

コンピュータの特殊キーボードや 画面読み上げソフトの開発が進んでいる!

障害者職業総合センターで、重度障害者の働きたいニーズを実現するために、当事者ニーズ調査を行い、特殊キーボードや読み上げソフトウェアの開発を行っています。試作品はもうできていて、今後当事者に試してもらい、二次試作にかかる予定。早ければ、1年後ぐらいには商品化されるそうです。ただ、ひとりひとりの細かいニーズにどう合わせていくかなどは、今後のモニター調査の状況によるようです。

特殊キーボード (大型から小型キーボードまで5種類の試作品がある)



大型は、既製品では、キーを正確に押しにくい、他のキーに触れてしまう、キーが小さすぎてキーの位置が見にくいという脳性まひ等の人達を対象にしています。

小型は、キーに届く範囲が狭く、キーを押す力も少ないと筋ジストロフィー症等の人達を対象にしています。

- ・ボードを傾けて使用できるように、角度を変えられる。
- ・配列は、現時点ではJIS配列だが、変更可能。
- ・キーの大きさと間隔がそれぞれ考慮されている。 etc

画面読み上げソフト

視覚障害者用となっていますが、脳性まひで緊張が強く画面が見にくい人にとっても

* 音で入力文字などを確認できるソフトです。キーボードとの組合せで生活が変わる!

やとうご

問い合わせ:障害者職業総合センターの八藤後さんまで

* 〒261 千葉市美浜区若葉3-1-3 043-297-9034 (FAX 043-297-9058)

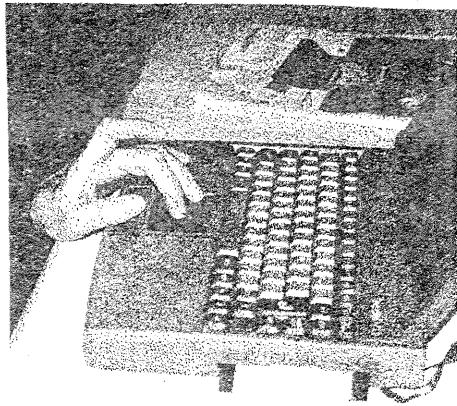




「さつきも使えるマウス」

突撃レポートの“さつきさん”から、情報をいただきました。今、マウスで操作する「Windows 95」などが出まわっていますが、脳性まひで緊張の強い“さつきさん”にとって、マウスはカーソルをなかなか思うような位置に持っていけず、苦手のひとつだそうです。今、ネズミ型やボール型などのマウスが出ていますが、右の写真のような、マウスの面上で自分の指を動かすことで目的の位置にカーソルをもっていけるものは“さつきさん”にとって使いやすいそうです。皆さんいかがですか？

便利なものや工夫を教えて下さい。



キャノン株式会社から、礼状が届きました。

前号で掲載した「キャノン・コミュニケーション CC-7J」について、「多くの方からお問い合わせや引き合いが続いております。」とのことです。私たちも役に立っているんだと嬉しく思いました。でも、これは企業のための情報ではありません。必要な人に、その人にあう物が提供され、豊かな生活が送れるようになることを望んでいます。ですからぜひ、使ってみての感想、パンフレットを読んでの感想など、企業や情報誌などへお寄せ下さい。皆さんのためにもなるし、またそれが他の人のためにもなります。

そこでひとつ。。。 りゅうちょう

富士ゼロックス(株)の『流暢CLUB』をご存じですか？英語が苦手な人が海外旅行に行く時の言語障害（言葉のハンディ）を助ける、まさに「コミュニケーション機器」なのですが、これがすごい！！名前の通り「流暢」に英語や日本語を喋り、簡単な操作で単語が出てきて、それを組み合わせることができるのです。ポケットサイズだからなのか、限られた言葉しか辞書になくて話せないけど、この技術がなぜコミュニケーターやトーキングエイドにないのか。（企業に聞こう）

モニターをしよう！

いろんな便利な製品がでまわっていますが、これを試してみたいと思ったらその企業に連絡をして試したい主旨などを話せば期限付きでモニターできる場合があります。上記の『流暢CLUB』も情報誌編集部で今モニターをしています。個人の要望より、声をまとめての要望の方がいいと思いますが、今何か試してみたいなーと思っている方、連絡してみてはどうですか？

情報誌編集部も協力しますよ。



編集後記

福祉機器特集号いかがでしたか。17号に載せようと思ったのですが、いつものことながらお知らせしたい事がたくさんになってしまい、今回「特集号」ということで皆様にお届けします。読者の方々のクリエイティブな生活に、情報誌が少しでもお役に立てれば、編集部一同このうえない喜びです。今年にもまして、来年もご愛読よろしくお願ひいたします。